

## <ちょこっとコラム②③>

(教会歴 その⑧)

### 「聖霊降臨日（ペンテコステ）」 Pentecost

イエス様は復活されてから 40 日後に天に昇られ、そしてその 10 日後、弟子たちの上に約束されていた聖霊が降ったことが聖書に記されています（使徒言行録 2 章 1-42 節）。その出来事が起こったのは、ユダヤ教の五旬節の日（ギリシア語でペンテコステ）のことでした。使徒たちとイエスの母や兄弟たち、イエスに従った女性たちが集まって祈っていると、激しい風のような音が聞こえ、天から炎のような舌が一人ひとりの上に分かれて降ったのです。聖霊に満たされた彼らは、さまざまな国の言葉で語るようになり、イエス様の福音を外国へと広めていきました。そこから、聖霊降臨日は、「教会の誕生日」とも呼ばれます。祭色は聖霊を表す「赤」が使われます。